

EMお掃除活用レポート



頑固な尿石もポロツととれるので爽快です！と、掃除スタッフの方

掃除用具は感謝の気持ちを込めて常にキレイに。雑菌が繁殖しないよう、限られたスペースを上手に利用しています。



他にも、トイレのニオイの原因となる尿石が簡単に取れる、トイレに関する苦情クレームがほとんどない、泡の出る作業が不要なので節水できる、掃除スタッフにゆとりができる等々：EMの効果は計り知れません。

EMの効果として、山上さんがまず挙げたのはコスト削減ができたこと。トイレ用洗剤や固形石けん等の清掃資材はEM発酵液で代用し、芳香剤は不要になり、トイレブラシ等の清掃用具の交換頻度が減ったことから経費計算をしました。すると、年間約31万7千円かかっていたものが、8万6千円に抑えられ、23万円ものコスト削減に成功したそうです。また、EM発酵液を使用し続けると、使用量は徐々に少なくなり、さらなるコスト削減が望めるとか。

EMで年間の経費が23万円も削減！



築40年にもなる工場内のトイレ。このツヤと輝きなのに、立て直しやリフォームは一切行っていないというから驚きです。



親会社である株式会社コロナは、地球にやさしい空調・家電・暖房器具の製造販売を行っており、工場の中に入ると作りかけの製品がベルトコンベアで流れていました。工場内のトイレの扉を開けると、そこはショールームのようなピッカピカの便器が並んでいました。はがれ

深呼吸ができるトイレ？！



明るく・楽しく・感謝して！
EMで掃除のプロになる。

地球にやさしい空調・家電・暖房器具の製造・販売を

手掛けている株式会社コロナ。その関連会社の清掃を

手掛けているコロナリビングサービス株式会社。

長年、環境にやさしい清掃を行ってきた活動が評価され、

「第15回新潟県環境賞」を受賞されました。

■取材先

コロナリビングサービス株式会社(新潟県 三条市)
施設管理課 リーダー 山上(やまがみ) 智恵子 様

元氣な明るい笑顔で迎えてくださった山上さん。

来客からは「環境がいいですね」の声
「こんにちはー！」と晴天に響く、元氣な明るい声で迎えてくださったのは、コロナリビングサービス株式会社の山上智恵子さん。「今日はEMのお話ができるので、とても楽しみにしていました。玄関のガラスもマットもピッカピカでしよう？」と、挨拶も早々に現場を案内してくださいました。「EMを毎日散布していると、マットの掃除機がけをしても、掃除機から出る排気が臭くないんですよ。ホコリも立ちにくくなり、見学に来られたお客さまからも、環境がいいですね、とお褒めの言葉をいただいています」。

山上さんが自慢したくなるのもそのはず。玄関のガラスはまるで鏡のようで、玄関前の植栽が見事に写りこんでいます。



鏡のように、背景が写りこんでいる正面玄関のガラス

EM清掃のプロになる！



山上さんは施設管理課のリーダーとして、19人の部下たちと共に、県内5ヶ所にある工場の施設管理を行っています。10年前に施設管理課を任されたが、それまでは別の部署で働いていたため、配属当初は暗中模索の状態だったそうです。そんな中、にいがたグリーンネット21さんからEMのことを教えてもらい、すぐに使い始めました。

「EMを希釈してトイレに噴霧していたら、便器周りのニオイが3日で消えたんです！本当にびっくりしました。よし、これならいける！掃除のプロになってやろう！」と心に決めました」。

それ以来、合成洗剤を一切止め、EMを使った掃除を徹底的に研究したそうです。最初は原液を使用していましたが、今はコスト面を考慮し、EM発酵液を社内で作っています。また、EM石けん(固形・液体)も作り、5工場の掃除にフル活用しています。

EM発酵液を利用して社内で作ったEM液体石けん。1回の使用分量がわかるように線が引かれています。



社内で作っているEM発酵液。安定して培養できるように、発泡スチロールや緩衝材を使っているオリジナル培養キットを利用しています。



楽しく掃除ができます」と愛情を込めて掃除をしていると、EMがそれに応じてくれて、ますますキレイになつていくような気がします。

心を込めて掃除をしていると、物を大切にすることが育ってきます。物を大切にすることは、人を大切にすることと同じです。使い捨てに慣れてしまうと、人間関係においても、氣に入らなければ付き合えない、と希薄な関係になってしまうのではと危惧します。「一緒に働いてくれる部下の皆さんにも、この仕事を通してそれに気づいてほしい」と山上さんは常に思っているそうです。

「施設管理課という課を任された時、今までと全く違った仕事内容で、正直、戸惑うことが多くありました。しかしこの仕事は、ここで働くすべての人すべてのお客様に気持ちよく過ごしてもらおう環境づくりをするという、とてもやりがいのある仕事です。『私は掃除のプロになろう！』と思い、10年間やってきました。何でも良いと思うんです。誰にも負けないと思えるものが、すべてにながついていると思います。私にとってEMは、それを与えてくれたひとつの手段です。これからも大切にしていきたいです」と、元氣いっぱいにお仕事をしている山上さん。忙しい業務の傍らで、美土郷の会というボランティア団体も立ち上げ、さらにEMの環を拡げています。

物を大切にすることは人を大切にすること



「私たちは微生物の力を借りないと生きていけません。EMも生き物ですので『ありがとう。おかげ様で



毎日400人が利用するという社員食堂。床がピッカピカでライトが反射しているので、節電効果も？！